

— 苫小牧市個別危機管理マニュアル —

## エレベーター運行危機管理マニュアル

平成 22 年 5 月

(都市建設部設備課 作成)

本危機管理マニュアルについては、組織機構等の改正および関係法令等が変更となった場合には、適時修正を加えて対応する。

# 目 次

## 第1章 総 則

- 1 目 的 . . . . . P - 1
- 2 対象危機 . . . . . P - 1
- 3 組織体制 . . . . . P - 1

## 第2章 平常時の危機管理

- 1 危機予防対策 . . . . . P - 1～2
- 2 危機対応の備え . . . . . P - 2

## 第3章 緊急時の対応

- 1 緊急時対応 . . . . . P - 2～3

## 第4章 事後対策

- 1 被害者対応 . . . . . P - 4
- 2 再発防止策 . . . . . P - 4

## 第1章 総 則

### 1 目 的

このマニュアルは、市有施設のエレベーター運行に関する平常時の危機管理の充実、ならびに危機発生に対する人命の安全確保および被害の抑制・軽減、二次災害防止を目的とする。

### 2 対象危機

このマニュアルの対象とする危機は、次に掲げるものとする。

- (1) エレベーターの故障・事故
- (2) エレベーター内の閉じ込め
- (3) エレベーター運行に関わる人的被害

### 3 組織体制

このエレベーター運行危機管理マニュアルは、エレベーターを所有する各施設の所管部組織体制で運用する。

## 第2章 平常時の危機管理

### 1 危機予防対策

#### (1) 管理体制の確立

施設管理者(※1)は、エレベーターの管理責任者(※2)を定め日常のエレベーター安全運行の保持に努める。

※1：施設管理者とは、所管課長若しくは施設長（指定管理者の長を含む）

※2：管理責任者とは、所管課若しくは施設管理の担当者（指定管理者の担当者を含む）

#### (2) エレベーターに関する知識の習得

施設管理者は、エレベーターの管理責任者と共にエレベーターの安全管理のため、次の事項を習得しておく。

ア エレベーターに関する基礎知識

イ エレベーターの運行および取扱いに関する知識

ウ エレベーターに関する法令等の知識

※これらの知識は、施設に常備されているエレベーター管理読本等により習得が可能

(3) 点検および保守

施設管理者は、保守点検業者が行なう定期点検ならびに法定検査結果等でエレベーターの状態を把握し、必要に応じて保守を行う。

(4) 予防保全

施設管理者は、保守点検業者が行なう定期点検ならびに法定検査結果等でエレベーターの状態を把握し、必要に応じて改修を行い予防保全に努める。

## 2 危機対応の備え

(1) 適切な運行管理

エレベーター設置時に付属納品されている「管理読本」、「取扱説明書」に目を通し、適切な運行管理を行う。

特に「管理読本」は日常対応および緊急時対応の管理手引きとなるので危機管理の参考にする。

(2) マニュアルと管理読本の保存

本マニュアルと「管理読本」は、一体として保存活用する。

(3) 危機対応訓練

施設管理者は、施設管理に携わる職員を対象に、本マニュアル等を基に定期的にエレベーターに関する研修や訓練等を実施し危機対応能力の向上に努める。

## 第3章 緊急時の対応

### 1 緊急時対応

緊急時には、被害の拡大を防止する上で迅速な初動体制の確立が重要であることから、次の事項を基に、別紙『エレベーター緊急時対応マニュアル』を活用する。

(1) 緊急時の通報

緊急時の第一報は、事象によって異なる。

故障・事故については、エレベーター利用者あるいは施設の従事者、保守点検業者等が第一発見通報者となる。

一方、閉じ込めについては、通常、エレベーター内に閉じ込められた人が外部通話装置で保守点検業者等と通話することにより第一通報者となる。

以降の通報経路は、施設管理者から所管部長へ報告となる。

(2) 救助および救護活動

危機発生時に人的被害が発生した場合は、人命の救出および安全確保を最優先に活動する。この場合、施設管理体制およびエレベーター保守業者において救助が困難な時、あるいは負傷の状況等に応じて消防、警察等の協力を得る。

(3) エレベーター利用者の対策

エレベーター復旧までの間、身障者・高齢者・幼児等に対して支援を講じる。

(4) 応援体制

施設所管部署の対応能力が限界を超えると判断される場合、関係部署等に応援を要請する。

(5) 二次災害の防止

危機事象による被害の拡大と二次災害の防止を図るため、危険区域の安全点検、立ち入り制限等を行い二次被害防止措置を講じる。

(6) 事態の情報提供

エレベーター利用者に対し、危機事象の発生状況、今後の見通し、応急対策等を周知する。(エレベーター乗り場における誘導、貼り紙など)

(7) 危機管理情報の報告

危機の状況報告、情報収集および整理分析等を行い、危機の内容に応じて危機管理室等へ連絡するなどにより情報の共有化を図るものとする。

(8) 故障復旧および運行再開

故障復旧および修繕は別に定める『エレベーター総合点検マニュアル』に基づき点検等を実施し、エレベーター保守点検業者等と共に安全を確認後にエレベーターの運行を再開する。

## 第4章 事後対策

### 1 被害者対応

エレベータートラブルにより被害者が発生した場合、被害者への事後対応を行う。

### 2 再発防止策

#### (1) 危機対応の評価

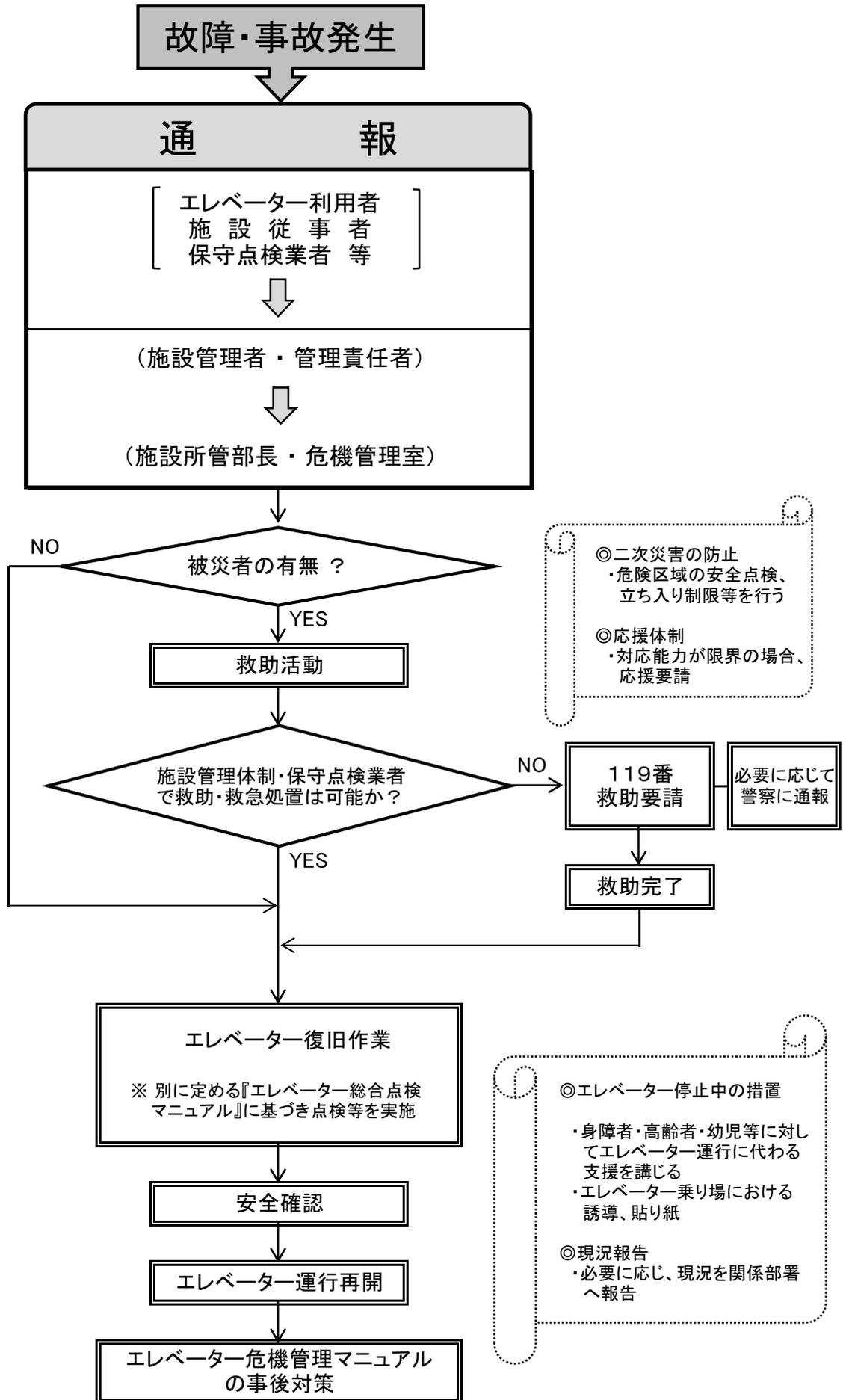
一連の緊急時の対応を記録・再点検し、必要に応じて評価、改善を行う。

#### (2) 再発防止策

危機の発生や被害の発生の原因解明を行い、平常時の対策、危機発生時の対応などについて検証し、それに基づく再発防止策や改善策を検討する。

平成 21 年 11 月 30 日 作成  
平成 22 年 5 月 12 日 改訂

# エレベーター緊急時対応マニュアル



# エレベーター総合点検マニュアル

(故障・修繕・工事施工時の点検)

平成 22 年 5 月

(都市建設部設備課 作成)

## 1 目 的

このマニュアルは、エレベーターの故障および修繕、工事における点検並びに試運転など必要な事項を定め、これに基づき適切な措置を講ずることにより、エレベーターが所定の機能が確保され、事故・故障等の未然の防止に資することを目的とする。

## 2 適用範囲

このマニュアルの適用範囲は、市有施設のエレベーターの故障および修繕、工事施工完了時に適用する。

## 3 故障時の措置

- (1) 故障発生時は、「エレベーター運行危機管理マニュアル」に基づき、緊急時の対応を行う。
- (2) 故障復旧時は、7項「危機管理対策」に則した対応を行う。

## 4 点検要領

- (1) 点検項目および点検内容は、エレベーター種別に応じ、次の点検表によるものとする。

	点 検 表
ロープ式エレベーター	点検表1による
機械室なしエレベーター	点検表2による
油圧式エレベーター	点検表3による

- (2) 点検の範囲は、故障および修繕、工事の内容により次のとおりとする。

	点 検 の 範 囲
故障・修繕	故障・修繕した部分の当該点検項目
部分改修工事	改修を行った部分の当該点検項目
リニューアル工事、新設工事	点検表の全点検項目

### (3) 点検者の資格

点検は、建築基準法の規定に基づき国土交通大臣の定める資格を有する者「昇降機検査資格者」が行うものとする。

### (4) 点検で異常が認められた場合の措置

点検で異常が認められた場合は、7項「危機管理対策」に則した対応を行い、当該部分の点検を再度実施し点検表にその内容を記録する。

## 5 試運転

点検完了後は、故障および修繕、工事の内容により次のとおり試運転を行い、異常のないこと確認したうえで一般利用を開始する。

	試 運 転 要 領
故障・修繕	ドア開閉および昇降運転を 10 回以上実施
部分改修工事	ドア開閉および昇降運転を 30 回以上実施
リニューアル工事、新設工事	ドア開閉および昇降運転を 100 回以上実施

## 6 巡回点検

一般利用を開始後は、故障および修繕、工事の内容により次のとおり巡回点検を行う。

	巡 回 点 検 要 領
故障・修繕	故障修繕後の直近の定期点検時に当該修繕部分の目視点検を実施
部分改修工事	工事後の直近の定期点検時に当該修繕部分の目視点検を実施
リニューアル工事、新設工事	一般利用開始後、最大7日間、主要部分の目視点検を実施

## 7 危機管理対策

故障若しくは点検等で異常が認められた場合は、事故・故障等の未然防止のため、次の対策を行う。

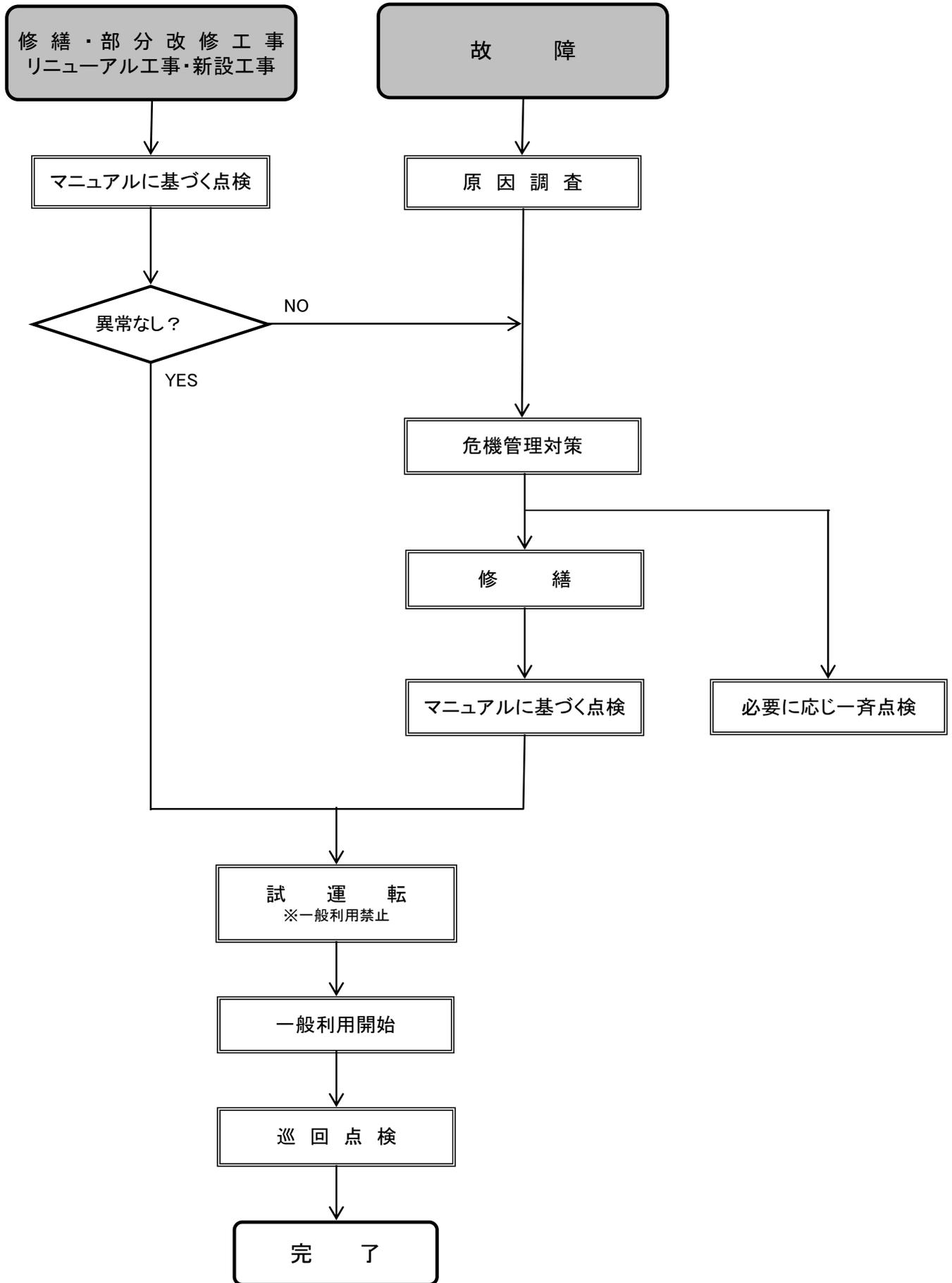
- (1) エレベーター管理者若しくは工事担当課は、都市建設部(設備課担当)に故障異常情報を提供し、保守点検受託者、工事請負者と連携をとり、必要な措置を講じ、本マニュアルに基づき点検等を行う。
- (2) 都市建設部(設備課担当)は、故障、異常の原因が他のエレベーターでも発生する可能性があるとして判断した場合は、危機管理室へ報告すると共に、関連するエレベーター所管部(エレベーター管理者)に情報を提供する。
- (3) 関連するエレベーター所管部(エレベーター管理者)は、点検等適切な措置を講じ、その結果を都市建設部(設備課担当)および危機管理室へ報告する。

## 8 受注業者の義務

エレベーターの保守点検受託者並びに工事請負者は、次の事項を誠実に行う。

- (1) 故障の復旧および修繕、工事を行う際は社内検査等のほか、本マニュアルに基づく点検および試運転、巡回点検を誠実に実施するものとする。
- (2) 故障若しくは点検等で異常が認められた場合は、速やかに市に報告するものとする。
- (3) 本マニュアルに基づき実施した点検および試運転、巡回点検の結果を書面で提出するものとする。

# エレベーター総合点検フロー



エレベーター点検表

( 故障 ・ 修繕 ・ 部分改修工事 ・ リニューアル工事 ・ 新設工事 ・ 一斉点検 )

施設名: \_\_\_\_\_ ( 号機 )  
 修繕・工事名: \_\_\_\_\_  
 点検日: 平成 年 月 日 ( )

請負者・受託者  
 住 所  
 名 称  
 代 表 者

印

点検者  
 氏 名  
 資格番号

印

記号	該当なし	/	
	点検結果異常なし	レ	
	点検処理事項	調整	A
		修理	R
		分解	U
		締付	T
		取替	E
給油	O		
清掃	C		

点検項目	点検内容	判定	備考					
機械室	1 機械室への通行	① 機械室への通行及び出入りに支障がないことを確認 ② 出入口扉の施錠の良否を確認						
	2 室内環境	① 室内清掃及びエレベーターの機能上又は保全の実施上支障のないことを確認 ② 室内又は制御盤の温度の良否を点検 ③ 手巻きハンドルの設置の有無を点検 ④ エレベーターに係る設備以外のもの有無を確認						
		3 主閉閉器・受電盤・制御盤・起動盤・信号盤	① 作動の良否を点検 ② 端子の緩み及びヒューズエレメントの異常の有無を点検 ③ 次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認 ・電動機主回路・制御回路・信号回路・照明回路 ④ 主閉閉器の操作及び動作の良否を点検 ⑤ 電磁接触器の接点摩耗の有無を点検 ⑥ 制御盤内の清掃の確認 ⑦ ブリット板汚れ及び冷却ファンの回転状態の異常の有無を点検					
			4 巻上機	① 潤滑状態の良否及び油漏れの有無を点検 ② 歯当りの良否を点検 ③ 回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検 ④ 網車のひび割れ、ロープ溝の摩耗及びロープスリップの有無を点検 ⑤ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認				
				5 電磁ブレーキ	① スリップの異常の有無を点検 ② ブレーキシュー、アーム及びブラッシュの作動の良否を点検 ③ ブラッシュストロークを点検し、その良否を確認 ④ ブレーキスイッチ接点の脱落、荒損及び摩耗の有無を点検 ⑤ ブレーキリングの摩耗の有無を点検 ⑥ 制動力をチェックし、その良否を確認			
	6 そらせ車				① ロープ溝の摩耗の有無及び取付けの良否を点検 ② 回転状態の異常の有無を点検 ③ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認			
					7 電動機	① 作動の良否を点検 ② 異常音、異常振動及び異常温度の有無を点検 ③ 電動機エンコーダ、パイロットゼネレータの作動の良否を点検 ④ 電動機用冷却ファンの作動の良否を点検 ⑤ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認		
						8 かご側調速機	① 異常音及び異常振動の有無を点検 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ 過速スイッチ及びキャッチの作動速度を測定、その値が基準値に適合していることを確認 ④ エンコーダの作動の良否を点検 ⑤ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認	
	9 つり合いおもり側調速機		① 異常音及び異常振動の有無を点検 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ 過速スイッチ及びキャッチの作動速度を測定、その値が基準値に適合していることを確認 ④ エンコーダの作動の良否を点検 ⑤ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認					
		10 機器の耐震対策	地震その他の振動による移動、転倒及び主索外れ防止装置の良否を点検					
		11 主索の緩み検出装置	作動の良否を点検					
		12 かご速度検出器	① 取付け状態の良否を点検 ② 正しく機能していることを確認					
			13 昇降路との貫通部分	主索及びガイドロープが機械室床の貫通部分と接触していないことを確認				

	点 検 項 目	点 検 内 容	判 定	備 考
か ご	1 運行状態	加速・減速の良否並びに着床段差及び異常振動の有無を点検		
	2 かご室の周壁、天井及び床	摩耗、さび及び腐食による劣化の有無を点検		
	3 かごの戸及び敷居	① ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検 ② 取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検 ③ ビジョンガラスの汚れの有無を点検		
	4 かごの戸ハンガーローラ	① 取付け状態及び作動の良否を点検 ② ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認		
	5 かごの戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検		
	6 ドアレール	① 取付け状態の良否を点検 ② 摩耗及びさびの有無を点検		
	7 かごの戸のスイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動の良否を点検		
	8 戸閉め安全装置	① 戸の反転動作機能の良否を点検 ② ケーブルの取付け状態及び損傷の有無を点検		
	9 かご操作盤	① 作動の良否を点検 ② 取付け状態の良否を点検		
	10 かご内位置表示灯	球切れの有無を点検		
	11 外部への連絡装置	① 呼出及び通話の良否を点検 ② 装置の異常の有無を点検 ③ 電話回線を使用している場合は、電話回線の異常の有無を点検		
	12 照明	① 球切れ及びちらつきの有無を点検 ② 照明カバーの取付け状態の良否及び汚れの有無を点検		
	13 換気扇及びファン	① 回転状態の作動の良否を点検 ② ルーバーの汚れの有無を点検		
	14 停止スイッチ	作動の良否を点検		
	15 注意銘板の表示	用途、積載質量(又は積載量)及び最大定員の表示の適否を点検		
	16 停電灯装置	① 点灯状態の良否を点検 ② 基準照度を基準時間以上保持できる状態のバッテリーであることを確認		
	17 各階強制停止装置	作動の良否を点検		
	18 かご床先と昇降路壁の水平距離	出入口の床先とかごの床先との水平距離及びかご床先と昇降路壁(乗用又は寝台用エレベーターに限る)との水平距離が規定値内にあることを確認		
	19 光電装置	作動の良否を点検		
	20 側部救出口	施錠及びスイッチの作動の良否を点検		
	21 専用操作盤	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動の良否を点検		
	22 鏡及び手すり	取付け状態の良否を点検		
	23 床合せ補正装置	着床面を基準として規定値内の位置において補正できることを確認		

	点検項目	点検内容	判定	備考
かごの周囲・昇降路	1 かごの上部の外観	① 汚れの有無を点検		
	2 非常救出口	① かご外部からの開閉の良否を点検 ② 救出口スイッチを作動させた場合にエレベータが停止することを確認		
	3 戸の開閉装置	① 戸の開閉状態及び開閉時間の良否を点検 ② 開閉機構の取付け状態の良否を点検 ③ 軸受の異常音及び異常温度の有無を点検 ④ 駆動チェーン・ベルトのテンション及び伸びの異常の有無を点検 ⑤ 電動機コンミュータ、カーボンブラシの荒損及び摩耗の有無を点検 ⑥ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認 ⑦ ギアオイル・グリスの漏れ及び劣化の状態を点検 ⑧ 各スイッチ接点の摩耗の有無を点検 ⑨ 制御抵抗管の状態を点検		
	4 リタイアリングカム	取付け状態及び作動の良否並びに摩耗の有無を点検		
	5 かご上安全スイッチ及び運転装置	作動の良否を点検		
	6 かごつり車及びおもりのつり車	① 回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ 取付け状態の良否及びき裂の有無を点検 ④ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認		
	7 ガイドシュー又はローラーガイド	取付け状態の良否及び摩耗の有無を点検		
	8 主索及び调速機ロープ	① 破断、摩耗及びさびの有無を点検し、基準に適合していることを確認 ② 取付け状態の良否並びにダブルカット及び割ヒンの劣化の有無を点検 ③ すべての主索が、ほぼ均等な張力であることを点検		
	9 ガイドレール及びブラケット	① 取付け状態の良否を点検 ② さび、変形及び摩耗の有無を点検		
	10 はかり装置	作動した場合に警報を発生し、かつ、戸が閉まらないことを確認		
	11 つり合いおもり	取付け状態の良否を点検		
	12 つり合いおもりの非常止め装置	① 取付け状態の良否を点検 ② 非常止めの試験を行い、異常のないことを確認		
	13 上部ファイナルリミットスイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動の良否を点検		
	14 誘導板及びリミットスイッチ	取付け状態の良否を点検		
	15 中間つなぎ箱及び配管	① ケーブルの取付け状態の良否を点検 ② 昇降機に直接関係のない配管配線がないことを確認		
	16 着床装置	作動の良否を点検		
	17 給油器	① 給油機能の状態を点検 ② 油量の適否を点検		
	18 終端階強制減速装置	作動の良否を点検		
	19 昇降路	① 各出入口敷居下部の保護板の取付け状態の良否を点検 ② エレベータに係る設備以外のもの有無を点検 ③ 昇降路のき裂、損傷及び汚れの有無を点検 ④ 地震その他の振動でかご及びロープが昇降路内の壁、機器と接触しない措置が施されていることを確認		
乗場	1 乗り場ボタン	① 乗場呼びの作動の良否を点検 ② 取付け状態の良否を点検		
	2 位置表示灯	表示灯の球切れの有無を点検		
	3 非常解錠装置	解錠に支障がないことを確認		
	4 乗場の戸及び敷居	① ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検 ② 取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検 ③ ビジョンガラスの汚れの有無を点検		
	5 ドアインターロックスイッチ	① 作動の良否を点検 ② 取付け状態の良否を点検		
	6 ドアクローザ	ドア閉端で自動的に閉じる機能に異常がないことを確認		
	7 乗場の戸ハンガーローラー	① 取付け状態及び作動の良否を点検 ② ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認		
	8 乗場の戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検		
	9 ドアレール	① 取付け状態の良否を点検 ② 摩耗及びさびの有無を点検		
	10 光電装置	作動の良否を点検		

点 検 項 目		点 検 内 容	判定	備 考	
ピ ット	1 環境状況	① 漏水の有無を点検 ② 汚れ及びエレベーターに係る設備以外のものの有無を点検			
	2 保守用停止スイッチ	作動の良否を点検			
	3 非常止め装置	① 取付け状態の良否を点検 ② 非常止めの試験を行い、異常のないことを確認			
	4 非常止めロープ	さび、振戻り、変形及び劣化の有無並びに巻取りの良否を点検			
	5 緩衝器	① 取付け状態の良否を点検 ② スプリング又はプランジャーのさびの有無を点検 ③ 油入式の場合は、作動油の油量の適否を点検			
	6 ガバナーロープ用及びその他の張り車	① 走行中に異常音の有無を確認 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ ピット床面との隙間の適否を点検 ④ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認			
	7 移動ケーブル	① かごの運行時に、揺れ及び振れに異常のないことを確認 ② 取付け状態の良否並びに損傷及び劣化の有無を点検			
	8 下部ファイナルリミットスイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動の良否を点検			
	9 つり合いロープ(鎖)及び取付部	取付け状態の良否並びにさび、摩耗、破断及び劣化の有無を点検			
	10 つり合いおもり底部隙間	かごが最上階に着床している時のつり合いおもりと緩衝器との距離及びかごが最下階に着床している時のかごと緩衝器との距離が規定値にあることを確認			
	11 タイダウンセーフティ	取付け状態の良否を点検			
	12 耐震対策	地震その他の振動で、かごがピット内の機器と接触しない措置が施されていることを確認			
付 加 装 置	13 地震時管制運転装置	作動の良否を点検			
	14 火災時管制運転装置	作動の良否を点検			
	15 自家発電管制運転装置	作動の良否を点検			
	16 停電時自動着床装置	① 作動の良否を点検 ② バッテリー液に不足がないことを確認			
	17 オートハウス装置	作動の良否を点検			
	18 超音波ドアセーフティ	作動の良否を点検			
	19 マルチモードセーフティ	作動の良否を点検			
	20 中央監視盤	① 表示灯の球切れの有無を点検 ② スイッチの作動の良否を点検 ③ 連絡装置の呼出し及び通話機能に異常がないことを確認			
群 管 理 運 転 装 置	1 運行状態	運行の異常の有無を点検			
	2 制御盤及び信号盤	① 作動の良否を点検 ② 端子の緩み及びヒューズ・エレメントの異常の有無を点検 ③ 次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認 ・ 制御回路 ・ 信号回路 ④ 電磁接触器の接点摩耗の有無を点検 ⑤ 制御盤内の清掃を確認 ⑥ 冷却ファンの回転の良否を点検 ⑦ 管理時計の作動の良否を点検			
	試 運 転	ドアの開閉および昇降運転		( 月 日 実施)	
	巡 回 点 検	目視点検		( 月 日 ~ 月 日 実施)	
	特記事項				

点検表 2 (機械室なしエレベーター)

# エ レ ベ ー タ ー 点 検 表

( 故障 ・ 修繕 ・ 部分改修工事 ・ リニューアル工事 ・ 新設工事 ・ 一斉点検 )

施 設 名 : \_\_\_\_\_ ( 号機 )  
 修繕・工事名 : \_\_\_\_\_  
 点 検 日 : 平成 年 月 日 ( )

請負者・受託者  
 住 所  
 名 称  
 代 表 者

印

点 検 者  
 氏 名  
 資 格 番 号

印

記号	該当なし	✓	
	点検結果異常なし	レ	
	点検処理事項	調整	A
		修理	R
		分解	U
		締付	T
		取替	E
		給油	O
		清掃	C

点 検 項 目	点 検 内 容	判定	備 考	
機 器 類	1 主開閉器・受電盤・制御盤・起動盤・信号盤	① 作動の良否を点検 ② 端子の緩み及びヒューズエレメントの異常の有無を点検 ③ 次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認 ・ 電動機主回路・制御回路・信号回路・照明回路 ④ 主開閉器の操作及び動作の良否を点検 ⑤ 電磁接触器の接点摩耗の有無を点検 ⑥ 制御盤内の清掃の確認 ⑦ プリント板汚れ及び冷却ファンの回転状態の異常の有無を点検		
	2 制御盤カバースイッチ	スイッチの作動の良否を点検		
	3 巻上機	① 潤滑状態の良否及び油漏れの有無を点検		
		② 歯当りの良否を点検		
		③ 回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検		
		④ 綱車のひび割れ、ロープ溝の摩耗及びロープスリップの有無を点検		
		⑤ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認		
	4 電磁ブレーキ	① スリップの異常の有無を点検		
② ブレーキシュー、アーム及びブラジヤの作動の良否を点検				
③ ブラジヤストロークを点検し、その良否を確認				
④ ブレーキスイッチ接点の脱落、荒損及び摩耗の有無を点検				
⑤ ブレーキライニングの摩耗の有無を点検				
⑥ 制動力をチェックし、その良否を確認				
5 電動機	① 作動の良否を点検			
	② 異常音、異常振動及び異常温度の有無を点検			
	③ 電動機エンコーダ、パイロットゼネレータの作動の良否を点検			
	④ 電動機用冷却ファンの作動の良否を点検			
	⑤ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認			
6 かご側調速機	① 異常音及び異常振動の有無を点検			
	② ロープ溝の摩耗の有無を点検			
	③ 過速スイッチ及びキャッチの作動速度を測定、その値が基準値に適合していることを確認			
	④ エンコーダの作動の良否を点検			
	⑤ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認			
7 つり合いおもり側調速機	① 異常音及び異常振動の有無を点検			
	② ロープ溝の摩耗の有無を点検			
	③ 過速スイッチ及びキャッチの作動速度を測定、その値が基準値に適合していることを確認			
	④ エンコーダの作動の良否を点検			
	⑤ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認			
8 機器の耐震対策	地震その他の振動による移動、転倒及び主索外れ防止装置の良否を点検			
9 かご速度検出器	① 取付け状態の良否を点検			
	② 正しく機能していることを確認			
かご	1 運行状態	加速・減速の良否並びに着床段差及び異常振動の有無を点検		
	2 かご室の周壁、天井及び床	摩耗、さび及び腐食による劣化の有無を点検		
	3 かごの戸及び敷居	① ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検		
		② 取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検		
		③ ビジョンガラスの汚れの有無を点検		
4 かごの戸ハンガーローラ	① 取付け状態及び作動の良否を点検 ② ハンガーのおどり止め状態が適切であることを確認			
5 かごの戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検			

点検項目		点検内容	判定	備考	
かご	6 ドアレール	① 取付け状態の良否を点検 ② 摩耗及びさびの有無を点検			
	7 かごの戸のスイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動の良否を点検			
	8 戸閉め安全装置	① 戸の反転動作機能の良否を点検 ② ケーブルの取付け状態及び損傷の有無を点検			
	9 かご操作盤	① 作動の良否を点検 ② 取付け状態の良否を点検			
	10 かご内位置表示灯	球切れの有無を点検			
	11 外部への連絡装置	① 呼出及び通話の良否を点検 ② 装置の異常の有無を点検 ③ 電話回線を使用している場合は、電話回線の異常の有無を点検			
	12 照明	① 球切れ及びちらつきの有無を点検 ② 照明カバーの取付け状態の良否及び汚れの有無を点検			
	13 換気扇及びファン	① 回転状態の作動の良否を点検 ② ルーバーの汚れの有無を点検			
	14 停止スイッチ	作動の良否を点検			
	15 注意銘板の表示	用途、積載質量(又は積載量)及び最大定員の表示の適否を点検			
	16 停電灯装置	① 点灯状態の良否を点検 ② 基準照度を基準時間以上保持できる状態のバッテリーであることを確認			
	17 各階強制停止装置	作動の良否を点検			
	18 かご床先と昇降路壁の水平距離	出入口の床先とかごの床先との水平距離及びかご床先と昇降路壁(乗用又は寝台用エレベーターに限る)との水平距離が規定値内にあることを確認			
	19 光電装置	作動の良否を点検			
	20 側部救出口	施錠及びスイッチの作動の良否を点検			
	21 専用操作盤	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動の良否を点検			
	22 鏡及び手すり	取付け状態の良否を点検			
	23 床合せ補正装置	着床面を基準として規定値内の位置において補正できることを確認			
	かごの周囲・昇降路	1 かごの上部の外観	汚れの有無を点検		
		2 非常救出口	① かご外部からの開閉の良否を点検 ② 救出口スイッチを作動させた場合にエレベータが停止することを確認		
		3 戸の開閉装置	① 戸の開閉状態及び開閉時間の良否を点検 ② 開閉機構の取付け状態の良否を点検 ③ 軸受の異常音及び異常温度の有無を点検 ④ 駆動チェーン・ベルトのテンション及び伸びの異常の有無を点検 ⑤ 電動機コンミュータ、カボンブラシの荒損及び摩耗の有無を点検 ⑥ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認 ⑦ ギアオイル・グリスの漏れ及び劣化の状態を点検 ⑧ 各スイッチ接点の摩耗の有無を点検 ⑨ 制御抵抗管の状態を点検		
		4 かご上安全スイッチ及び運転装置	作動の良否を点検		
		5 おもりのつり車	① 回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ 取付け状態の良否及びき裂の有無を点検 ④ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認		
6 ガイドシュー又はローラーガイド		取付け状態の良否及び摩耗の有無を点検			
7 主索及び調速機ロープ		① 破断、摩耗及びさびの有無を点検し、基準に適合していることを確認 ② 取付け状態の良否並びにダブルナット及び割ヒンの劣化の有無を点検 ③ すべての主索が、ほぼ均等な張力であることを点検			
8 主索の緩み検出装置		作動の良否を点検する。			
9 ガイドレール及びブラケット		① 取付け状態の良否を点検 ② さび、変形及び摩耗の有無を点検			
10 はかり装置		作動した場合に警報を発し、かつ、戸が閉まらないことを確認			
11 つり合いおもり		取付け状態の良否を点検			
12 つり合いおもりの非常止め装置		① 取付け状態の良否を点検 ② 非常止めの試験を行い、異常のないことを確認			

点検項目		点検内容	判定	備考	
かごの周囲・昇降路	13 上部ファイナルリミットスイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動の良否を点検			
	14 頂部安全距離確保スイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動させた場合に、頂部安全距離が規定値以上確保できることを確認			
	15 頂部綱車	① 回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ 取付け状態の良否及びき裂の有無を点検 ④ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認			
	16 誘導板及びリミットスイッチ	取付け状態の良否を点検			
	17 中間つなぎ箱及び配管	① ケーブルの取付け状態の良否を点検 ② 昇降機に直接関係のない配管配線がないことを確認			
	18 着床装置	作動の良否を点検			
	19 給油器	① 給油機能の状態を点検 ② 油量の適否を点検			
	20 終端階強制減速装置	作動の良否を点検			
	21 昇降路	① 各出入口敷居下部の保護板の取付け状態の良否を点検 ② エレベーターに係る設備以外のものの有無を点検 ③ 昇降路のき裂、損傷及び汚れの有無を点検 ④ 地震その他の振動でかご及びロープが昇降路内の壁、機器と接触しない措置が施されていることを確認			
	乗場	1 乗り場ボタン	① 乗場呼びの作動の良否を点検 ② 取付け状態の良否を点検		
		2 位置表示灯	表示灯の球切れの有無を点検		
3 非常解錠装置		解錠に支障がないことを確認			
4 乗場の戸及び敷居		① ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検 ② 取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検 ③ ビジョンガラスの汚れの有無を点検			
5 ドアインターロックスイッチ		① 作動の良否を点検 ② 取付け状態の良否を点検			
6 ドアクローザ		ドア閉端で自動的に閉じる機能に異常がないことを確認			
7 乗場の戸ハンガーローラー		① 取付け状態及び作動の良否を点検 ② ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認			
8 乗場の戸連動ロープ及びチェーン		連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検			
9 ドアレール		① 取付け状態の良否を点検 ② 摩耗及びさびの有無を点検			
10 光電装置		作動の良否を点検			
11 ブレーキ開放装置		機能の良否を点検			
ピット	1 環境状況	① 漏水の有無を点検 ② 汚れ及びエレベーターに係る設備以外のものの有無を点検			
	2 保守用停止スイッチ	作動の良否を点検			
	3 非常止め装置	① 取付け状態の良否を点検 ② 非常止めの試験を行い、異常のないことを確認			
	4 かご下綱車	① 回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ 取付け状態の良否及びき裂の有無を点検 ④ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認			
	5 緩衝器	① 取付け状態の良否を点検 ② スプリング又はブランジャーのさびの有無を点検 ③ 油入式の場合は、作動油の油量の適否を点検			
	6 ガバナーロープ用及びその他の張り車	① 走行中に異常音の有無を確認 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ ピット床面との隙間の適否を点検 ④ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認			
	7 移動ケーブル	① かごの運行時に、揺れ及び振れに異常のないことを確認 ② 取付け状態の良否並びに損傷及び劣化の有無を点検			
	8 下部ファイナルリミットスイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動の良否を点検			
	9 底部安全距離確保スイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動させた場合に、底部安全距離が規定値以上確保できることを確認。			
	10 かご下降防止装置	機能の良否を点検			
	11 ピット冠水スイッチ	作動の良否を点検			
	12 つり合いロープ(鎖)及び取付部	取付け状態の良否及びさび、摩耗、破断、劣化の有無を点検			
	13 つり合いおもり底部隙間	かごが最上階に着床している時のつり合いおもりと緩衝器との距離及びかごが最下階に着床している時のかごと緩衝器との距離が規定値にあることを確認			
	14 耐震対策	地震その他の振動で、かごがピット内の機器と接触しない措置が施されていることを確認			

点 検 項 目		点 検 内 容	判 定	備 考
付 加 装 置	1 地震時管制運転装置	作動の良否を点検		
	2 火災時管制運転装置	作動の良否を点検		
	3 自家発管制運転装置	作動の良否を点検		
	4 停電時自動着床装置	① 作動の良否を点検 ② バッテリー液に不足がないことを確認		
	5 オートナウス装置	作動の良否を点検		
	6 超音波ドアセフティ	作動の良否を点検		
	7 マルチビームドアセフティ	作動の良否を点検		
	8 中央監視盤	① 表示灯の球切れの有無を点検 ② スイッチの作動の良否を点検 ③ 連絡装置の呼出し及び通話機能に異常がないことを確認		
群 管 理 運 転 装 置	1 運行状態	運行の異常の有無を点検		
	2 制御盤及び信号盤	① 作動の良否を点検		
		② 端子の緩み及びヒューズ・エレメントの異常の有無を点検		
		③ 次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認 ・制御回路      ・信号回路		
		④ 電磁接触器の接点摩耗の有無を点検		
		⑤ 制御盤内の清掃の確認		
		⑥ 冷却ファンの回転の良否を点検		
	⑦ 管理時計の作動の良否を点検			
試 運 転		ドアの開閉および昇降運転		( 月 日 実施)
巡 回 点 検		目視点検		( 月 日 ~ 月 日 実施)
特記事項				

エレベーター点検表

( 故障 ・ 修繕 ・ 部分改修工事 ・ リニューアル工事 ・ 新設工事 ・ 一斉点検 )

施設名: \_\_\_\_\_ ( 号機 )  
 修繕・工事名: \_\_\_\_\_  
 点検日: 平成 年 月 日 ( )

請負者・受託者

住所  
 名称  
 代表者

印

点検者  
 氏名  
 資格番号

印

記号	該当なし	✓	
	点検結果異常なし	レ	
	点検処理事項	調整	A
		修理	R
		分解	U
		締付	T
		取替	E
		給油	O
		清掃	C

点検項目	点検内容	判定	備考
機 機 室	1 機械室への通行	① 機械室への通行及び出入りに支障がないことを確認 ② 出入口扉の施錠の良否を確認	
	2 室内環境	① 室内清掃及びエレベーターの機能上又は保全の実施上支障のないことを確認 ② 室内又は制御盤内の温度の良否を点検 ③ エレベーターに係る設備以外のものの有無を確認	
	3 消火器等	① 出入口付近に消火器又は消火砂が設けられていることを確認 ② 火気厳禁の表示の有無を確認	
	4 主開閉器・受電盤・制御盤・起動盤・信号盤	① 作動の良否を点検 ② 端子の緩み及びヒューズエレメントの異常の有無を点検 ③ 次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認 ・電動機主回路・制御回路・信号回路・照明回路 ④ 主開閉器の操作及び作動の良否を点検 ⑤ 電磁接触器の接点摩耗の有無を点検 ⑥ 制御盤内の清掃の確認 ⑦ プリント板の汚れ及び冷却ファンの回転状態の異常の有無を点検	
	5 電動機	① 作動の良否を点検 ② 異常音、異常振動及び異常温度の有無を点検 ③ 電動機エンコーダ及びパイロットゼネレータの作動の良否を点検 ④ 電動機用冷却ファンの作動の良否を点検 ⑤ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認	
	6 パワーユニット	① 圧力計の指示値が正常であることを確認 ② ポンプの油漏れ及び異常音、異常振動等の有無を点検 ③ 駆動ベルトの張力の良否を点検 ④ 油圧タンク油量の適否及び油漏れの有無を点検 ⑤ 油圧タンク内油の汚れの有無及び油温の適否を点検 ⑥ 油圧タンクの取付け状態の良否を点検 ⑦ 安全弁の作動の良否を点検 ⑧ 逆止弁の作動の良否を点検 ⑨ 手動下降弁の作動の良否を点検 ⑩ 油フィルターの汚れの有無を点検 ⑪ 電磁バルブの作動の良否を点検 ⑫ オイルクーラー用冷却ファンの回転状態及び冷却効果の異常の有無を点検 ⑬ 水冷クーラー用冷却水量の適否を点検 ⑭ 油圧流量コントロールモーターの作動の良否を点検 ⑮ 油圧流量コントロール装置カムスイッチ接点の磨耗の有無を点検	
	7 圧力配管	① 油漏れの有無及び継手部の接続の良否を点検 ② 圧力配管の固定状態を点検	
	8 高圧ゴムホース	油漏れの有無及び継手部の接続の良否を点検	
	9 空転防止装置	規定の時間内に確実に作動することを確認	
	10 機器の耐震対策	地震その他の振動による移動、転倒及び主索外れ防止装置の良否を点検	
か ご	1 運行状態	加速・減速の良否並びに着床段差及び異常振動の有無を点検	
	2 かご室の周壁、天井及び床	摩耗、さび及び腐食による劣化の有無を点検	
	3 かごの戸及び敷居	① ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検 ② 取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検 ③ ビジョンガラスの汚れの有無を点検	

点検項目	点検内容	判定	備考		
かご	4 かごの戸ハンガーローラ	① 取付け状態及び作動の良否を点検 ② ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認			
	5 かごの戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検			
	6 ドアレール	① 取付け状態の良否を点検 ② 摩耗及びさびの有無を点検			
	7 かごの戸のスイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動の良否を点検			
	8 戸閉め安全装置	① 戸の反転動作機能の良否を点検 ② ケーブルの取付け状態及び損傷の有無を点検			
	9 かご操作盤	① 作動の良否を点検 ② 取付け状態の良否を点検			
	10 かご内位置表示灯	球切れの有無を点検			
	11 外部への連絡装置	① 呼出し及び通話の良否を点検 ② 装置の異常の有無を点検 ③ 電話回線を使用している場合は、電話回線の異常の有無を点検			
	12 照明	① 球切れ及びちらつきの有無を点検 ② 照明カバーの取付け状態の良否及び汚れの有無を点検			
	13 換気扇及びファン	① 回転状態の作動の良否を点検 ② ルーバーの汚れの有無を点検			
	14 停止スイッチ	作動の良否を点検			
	15 注意銘板の表示	用途、積載質量(又は積載量)及び最大定員の表示の適否を点検			
	16 停電灯装置	① 点灯状態の良否を点検 ② 基準照度を基準時間以上保持できる状態のバッテリーであることを確認			
	17 各階強制停止装置	作動の良否を点検			
	18 かご床先と昇降路壁の水平距離	出入口の床先とかごの床先との水平距離及びかご床先と昇降路壁(乗用又は寝台用のエレベーターに限る)との水平距離が規定値内にあることを確認			
	19 光電装置	作動の良否を点検			
	20 専用操作盤	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動の良否を点検			
	21 鏡及び手すり	取付け状態の良否を点検			
	22 床合せ補正装置	着床面を基準として規定値内の位置において補正することができることを確認			
	23 ドアゾーン行過ぎ制限装置	作動の良否を点検			
	かごの周囲・昇降路	1 かごの上部の外観	汚れの有無を点検		
		2 非常救出口	① かご外部からの開閉の良否を点検 ② 救出口スイッチを作動させた場合にエレベーターが停止することを確認		
		3 戸の開閉装置	① 戸の開閉状態及び開閉時間の良否を点検 ② 開閉機構の取付け状態の良否を点検 ③ 軸受の異常音及び異常温度の有無を点検 ④ 駆動チェーン・ベルトのテンション及び伸びの異常の有無を点検 ⑤ 電動機コンミュテータ、カーボンブラシの荒損及び摩耗の有無を点検 ⑥ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認 ⑦ ギヤーオイル・グリースの漏れ及び劣化の状態を点検 ⑧ 各スイッチ接点の摩耗の有無を点検 ⑨ 制御抵抗管の状態を点検		
4 リタイアリングカム		取付け状態及び作動の良否並びに摩耗の有無を点検			
5 かご上安全スイッチ及び運転装置		作動の良否を点検			
6 ガイドシュー又はローラーガイド		取付け状態の良否及び摩耗の有無を点検			
7 主索及び调速機ロープ		① 破断、摩耗及びさびの有無を点検し、基準に適合していることを確認 ② 取付け状態の良否並びにダブルナット及び割ピンの劣化の有無を点検 ③ すべての主索が、ほぼ均等な張力であることを点検			
8 主索の緩み検出装置		作動の良否を点検			
9 ガイドレール及びブラケット		① 取付け状態の良否を点検 ② さび、変形及び摩耗の有無を点検			

	点 検 項 目	点 検 内 容	判定	備 考
か ご の 周 圍 ・ 昇 降 路	10 はかり装置	作動した場合に警報を発し、かつ戸が閉まらないことを確認		
	11 上部ファイナルリミットスイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動の良否を点検		
	12 頂部安全距離確保スイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動させた場合に、頂部安全距離が規定値以上確保できることを確認		
	13 頂部綱車	① 回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ 取付け状態の良否及びき裂の有無を点検 ④ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認		
	14 誘導板及びリミットスイッチ	取付け状態の良否を点検		
	15 中間つなぎ箱及び配管	① ケーブルの取付け状態の良否を点検 ② 昇降機に直接関係のない配管配線がないことを確認		
	16 着床装置	作動の良否を点検		
	17 給油器	① 給油機能の状態を点検 ② 油量の適否を点検		
	18 油圧シリンダー及びプランジャー【間接式に限る】	① 取付けの良否並びに油漏れ、さび、損傷等の劣化の有無を点検 ② グランド部汚れ及び油戻しホースの取付け状態の良否を点検		
	19 プランジャー離脱防止装置【間接式に限る】	① 作動の良否を点検 ② かごを最上階より微速で上昇させ、プランジャーが離脱防止装置で停止したとき、頂部すき間が規定値以上であることを確認 ③ プランジャーリミットスイッチの作動の良否を点検		
	20 プランジャー頂部綱車【間接式に限る】	① 回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ 取付け状態の良否及びき裂の有無を点検 ④ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認		
21 昇降路	① 各出入口敷居下部の保護板の取付け状態の良否を点検 ② エレベーターに係る設備以外のものの有無を点検 ③ 昇降路のき裂、損傷及び汚れの有無を点検 ④ 地震その他の振動でかご及びロープが昇降路内の壁、機器と接触しない措置が施されていることを確認			
乗 場	1 乗場ボタン	① 乗場呼びの作動の良否を点検 ② 取付け状態の良否を点検		
	2 位置表示灯	表示灯の球切れの有無を点検		
	3 非常解錠装置	解錠に支障がないことを確認		
	4 乗場の戸及び敷居	① ドアシュー及び敷居溝の摩耗の有無を点検 ② 取付け状態の良否及び戸の隙間の適否を点検 ③ ビジョンガラスの汚れの有無を点検		
	5 ドアインターロックスイッチ	① 作動の良否を点検 ② 取付け状態の良否を点検		
	6 ドアクローザ	ドア閉端で自動的に閉じる機能に異常がないことを確認		
	7 乗場の戸ハンガーローラ	① 取付け状態及び作動の良否を点検 ② ハンガーのおどり止めの状態が適切であることを確認		
	8 乗場の戸連動ロープ及びチェーン	連動ロープ、チェーンのテンション状態及び破断、摩耗並びに取付け状態の良否を点検		
	9 ドアレール	① 取付け状態の良否を点検 ② 摩耗及びさびの有無を点検		
	10 光電装置など	作動の良否を点検		
ピ ット	1 環境状況	① 漏水の有無を点検 ② 汚れ及びエレベーターに係る設備以外のものの有無を点検		
	2 保守用停止スイッチ	作動の良否を点検		
	3 非常止め装置	① 取付け状態の良否を点検 ② 非常止めの試験を行い、異常のないことを確認		
	4 かご下綱車	① 回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ 取付け状態の良否及びき裂の有無を点検 ④ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認		
	5 緩衝器	① 取付け状態の良否を点検 ② スプリングのさびの有無を点検		
	6 かごと緩衝器との距離	かごが最下階に着床しているときのかごと緩衝器との距離が、下降定格速度に応じ、基準内であることを確認		
	7 油圧シリンダー【直接式に限る】	① 取付け状態の良否及びき裂の有無を点検 ② グランド部汚れ及び油戻しホースの取付け状態の良否を点検		

点検項目	点検内容	判定	備考	
ビット	8 油圧シリンダー 下綱車 【間接式に限る】	① 回転時に軸受の異常音及び異常振動の有無を点検 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ 取付け状態の良否及びびき裂の有無を点検 ④ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認		
	9 油戻し装置	① 油漏れの有無及び作動の良否を点検 ② 油フィルターの汚れの有無を点検		
	10 ガバナロープ用及びその他の張り車	① 走行中に、異常音の有無を点検 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検する ③ ビット床面との隙間の適否を点検 ④ 各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認		
	11 かご側調速機	① 異常音及び異常振動の有無を点検 ② ロープ溝の摩耗の有無を点検 ③ 過速スイッチ及びキャッチの作動速度を測定し、その値が基準値に適合していることを確認 ④ 間接式の場合は、エンコーダの回転状態の異常の有無を点検 ⑤ 間接式の場合は、各すべり軸受又は転がり軸受部への給油状態の確認		
	12 かご速度検出器	① 取付け状態の良否を点検 ② 正しく機能していることを確認		
	13 移動ケーブル	① かごの運行時に、揺れ及びびれに異常のないことを確認 ② 取付け状態の良否並びに損傷及び劣化の有無を点検		
	14 下部ファイナルリミットスイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動の良否を点検		
	15 底部安全距離確保スイッチ	① 取付け状態の良否を点検 ② 作動させた場合に、頂部安全距離が規定値以上確保できることを確認		
	16 耐震対策	地震その他の振動で、かごがビット内の機器と接触しない措置が施されていることを確認		
付加装置	1 地震時管制運転装置	作動の良否を点検		
	2 火災時管制運転装置	作動の良否を点検		
	3 自家発管制運転装置	作動の良否を点検		
	4 停電時自動着床装置	① 作動の良否を点検 ② バッテリー液に不足がないことを確認		
	5 オートナクス装置	作動の良否を点検		
	6 超音波ドアセフティ	作動の良否を点検		
	7 マルチモードセフティ	作動の良否を点検		
	8 中央監視盤	① 表示灯の球切れの有無を点検 ② スイッチの作動の良否を点検 ③ 連絡装置の呼出し及び通話機能に異常がないことを確認		
群管理運転装置	1 運行状態	運行の異常の有無を点検		
	2 制御盤及び信号盤	① 作動の良否を点検 ② 端子の緩み及びヒューズ・エレメントの異常の有無を点検 ③ 次に示す回路の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認 ・制御回路 ・信号回路 ④ 電磁接触器の接点摩耗の有無を点検 ⑤ 制御盤内の清掃の確認 ⑥ 冷却ファンの回転の良否を点検 ⑦ 管理時計の作動の良否を点検		
	試運転	ドアの開閉および昇降運転		(月日実施)
	巡回点検	目視点検		(月日～月日実施)
	特記事項			